

# 湘南フォーラム



### 新型コロナウイルス感染症に打ち勝ち 安心・安全のまちづくりを

山原 栄一 議員

## 感染対策の長期化で 今後の市政運営は

**問** 長期化する新型コロナウイルス感染症対策による社会の変化に対して、今後の市政運営をどのように感じ取りしていくのか。

**市長** 市民の生命や財産、生活を守ることを第一に、感染拡大防止や地域経済の着実な回復を図っていく。さらに、デジタル化などを積極的に進め、ウィズコロナ・ポストコロナに対応する新たな日常を構築することで、本市が「さらに、選ばれたまち・住み続けるまち」となり、子や孫へたしかかな平塚をつないでいく。

## プレミアムポイント

**問** スターライトポイント事業の対象がスマートフォン利用者に限られたことへの見解を伺う。

**産業振興部長** キャッシュレス決済の普及へ、紙からデジタルに転換させていくという考えでスマートフォンを選んだ。多方面から意見があったことは真摯に受け止めているが、チャレンジした高齢者も多くいた。

## 平塚市民病院の体制

**問** 今の診療体制を伺う。  
**市長** 感染防止のための資器材の整備や、院内のPCR検査体制の確立をし、診

療を維持・継続してきた。現状は、院内感染の防止を最優先に取り組んでいる。

## ひとり親世帯支援を

**問** 支援の状況を伺う。  
**市長** 国によるひとり親世帯への給付金の再支給が現在検討されており、迅速に対応したいと考えている。本市では「こどもの総合相談」でオンライン相談を開始する準備を進めている。

## 大型事業の進捗状況

**問** 進捗と見通しを伺う。  
**市長** ツインシティ大地区土地地区画整理事業や相模小学校移転整備事業、見附台周辺地区整備・管理運営事業、学校給食センター整備・運営事業などの大型事業はそれぞれのスケジュールに沿って整備を進めている。

## 安心・安全なまちへ 金目川・鈴川合流部 河川拡幅計画が難航

**問** 河川合流部の流下能力はどのくらいか。

**防災・危機管理監** 県の評価結果では将来の能力に比べ7割程度となっている。河川拡幅計画を伺う。

**防災・危機管理監** 県は策定した計画に基づき用地交渉しているが難航しており計画通りに進んでいない。今後も積極的に交渉すると聞いているが、用地買収の時期を示すことは難しい。

## 河川の流入水抑制を

**問** 金目川水系への流入水抑制にどう取り組むのか。  
**防災・危機管理監** 関係者が治水対策を協議するプロジェクトへの参画について国から通知があった。プロ

## 排水ポンプ車配備を

**問** 内水氾濫による浸水対策として、排水ポンプ車を配備すべきではないか。

**防災・危機管理監** 必要性を強く感じており、購入する準備をしている。

## 新川排水路の整備を

**問** 新川排水路整備の見通しを伺う。

**防災・危機管理監** 県が改修に向けて調査する意向を持っており、費用分担の協議を行っている。

## 通学路の安全対策を

**問** 横断歩道などの不鮮明箇所や、ブロック塀危険箇所への対策の状況を伺う。  
**防災・危機管理監** 通学路交通安全プログラムに基づき学校から報告された危険箇所の改善を教育委員会から管理者へ依頼している。

## 平塚駅北口の バリアフリー実現を

**問** 実現の見通しを伺う。  
**防災・危機管理監** ラスカ平塚の営業時間外に稼働するようになったエレベーターを活用して、バリアフリーに配慮した施設の改修に協力が得られることとなった。

## 湘南海岸公園 龍城ヶ丘ゾーン整備

**問** 合意形成に向けて今後

## 声や点字の 議会だより

目の不自由な方に市議会の活動状況をお伝えするため、議会だよりの内容を音声化した「声の議会だより」を発行しています。

また、議会だよりの記事を抜粋し掲載した「点字版議会だより」も発行しています。

ご希望の方は議会局までご連絡ください。



問い合わせ  
議会局 ☎21-8791

## 湘南フォーラム 所属議員



府川 正明 議員



出村 光 議員

# 日本共産党平塚市議会議員団



### 市民の命と暮らし、生業を守り、安全・安心な平塚を

石田 雄二 議員

## PCR検査の拡充

**問** 新型コロナウイルス感染症の市内での感染拡大を防止するために、医師会と協力して本市独自のPCR検査を実施するべきではないか。

## 健康・こども部長

**市長** 本市では、平塚保健福祉事務所が陽性患者の発生した学校や福祉施設などに対して必要に応じて集団検査を実施している。今後、行政検査の拡大も期待されることから、国や県からの情報を注

## 経営困難業者と 職を失った市民 への支援策

**問** コロナ禍で廃業に追い込まれる中小企業が生まれている。市内の中小企業の実況と、市が講じてきた支

援策について伺う。

**産業振興部長** 市内中小企業については、本市の金融総合案内窓口における融資相談や、神奈川県による支援拠点と連携した経営相談会などでの相談内容からも、一時期に比べると若干落ち着いたものの、依然として厳しい経営状況が続いていると認識している。このことから本市では、「小規模事業者に対する事業所賃借料相当額の補助」や「新たな資金の創設」を行うとともに、「新しい生活

様式に取り組み中小企業等支援金事業」や「スタートアップポイントの発行」、「中小企業におけるITサービスの推進」など、コロナ禍においても社会経済を回すための支援を行ってきた。

**問** 最近の失業者数の推移をどのように把握しているのか。また、失業した市民に対してどのような支援を考えているのか。

**産業振興部長** 失業者については、ハローワーク平塚が毎月発行している「最近の雇用失業情勢」を利用して、ハローワーク平塚管内の求人数、求職者数と、全国の完全失業率の推移を把握している。就労支援としては、一度に複数社の採用面接が受けられる企業合同就職面接会を開催しているほか、月に2回の個別就労相談などを行っている。特に今年度の企業合同就職面接会については、新型コロナウイルスの影響などによる解雇や雇い止めなどで求職者が増えていることから、感染予防対策を十分講じた上で例年より回数を増やして

ている。

**▼このほかの質問** 少人数学級の実施について 令和元年台風19号対応検証について 湘南海岸公園龍城ヶ丘ゾーン整備・管理運営事業について

開催した。今後もハローワーク平塚やかながわ労働センター湘南支所などの関連機関と連携し、求職者の早期就労を支援していく。

**問** 雇用保険の対象にならない非正規労働者には一時金の支給が緊急に必要なではないか。

**産業振興部長** 生活が困窮している人については、福祉の相談窓口や社会福祉協議会などへきちんとつないでいく。福祉施策と就労施策をうまく組み合わせながら対応していきたいと考え

## 日本共産党平塚市議会議員団

### 所属議員



松本 敏子 議員